

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
人体の構造と機能14							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	2年	2期	齋藤 昭彦		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	人体の構造と機能			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復師として対象者の運動機能を正しく評価・治療するための科目である。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復師として対象者を正しく評価・治療することができるようになるために、人体の構造と機能のうち、運動学領域の知識を習得し、運動分析能力を身につける。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>						
上肢帯、上肢、下肢の運動について理解し、対象者の運動を考察することができる。							
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学、生理学の基本的な知識が必要となります。							
教科書・参考書							
運動学 改訂第3版 医歯薬出版							
受講上の注意							
予習・復習を大切にしてください。わからないことはその日のうちか、遅くともその週のうちに解決するようにしてください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	四肢と体幹の運動(上肢帯の運動)			p69-77	教科書・配布資料		
第2回	四肢と体幹の運動(肩関節の運動)			p78-86	教科書・配布資料		
第3回	四肢と体幹の運動(膝関節・前腕の運動)			p87-94	教科書・配布資料		
第4回	四肢と体幹の運動(手関節・手指の運動)①			p95-102	教科書・配布資料		
第5回	四肢と体幹の運動(手関節・手指の運動)②			p102-113	教科書・配布資料		
第6回	四肢と体幹の運動(股関節の運動)①			p114-118	教科書・配布資料		
第7回	四肢と体幹の運動(股関節の運動)② 四肢と体幹の運動(膝関節の運動)			p119-124 p125-130	教科書・配布資料		
第8回	四肢と体幹の運動(足関節・足部の運動)①			p131-143	教科書・配布資料		
第9回	四肢と体幹の運動(足関節・足部の運動)②			p143-145	教科書・配布資料		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
学療法臨床および理学療法教育に40年間携わった実績を踏まえ、運動学の重要ポイントについてわかりやすく説明する。							
メールアドレス							
a.saito-t@nihonisen.ac.jp							